

2018年12月10日 第258号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

## 「9の日」宣伝

市民と野党の共闘の力で、臨時国会で憲法議論させず

**3000万人署名の力で、  
安倍改憲ストップ！ 安倍退陣を！**

臨時国会は12月10日に会期末を迎えました。臨時国会で安倍政権は、出入国管理法、漁業法案、水道法案などの改悪と日欧経済連携協定(EPA)の批准を数の力で強行しました。10日午前には衆議院憲法審査会が開かれ、11月29日に会長職権で憲法審査会の開催を強行したことに対する形ばかりの謝罪がされ、国民投票法案の継続審議・閉会中審査の手続きなどについて2分間の議事が行われました。



こうした情勢のもと憲法共同センターは12月10日昼、定例の「9の日」宣伝を新宿駅西口で行い11団体・19人が参加。26人から3000万人署名が寄せられました。

自由法曹団の小部正治さんは「臨時国会で安倍政権は、4項目の自民党改憲案の提示ができなかったが、それは市民と野党の共闘の力で阻止したからだ。4項目の本丸は9条改憲。安倍首相は、自衛隊を書き込むだけと国民をだましている。9条を守り、100年も200年も戦争をしない国を続けよう」と訴えました。

全国革新懇の五十嵐仁さんは、臨時国会で安倍政権が次々と悪法を強行したことについて述べ、「議会制民主主義を踏みにじる暴挙を許してはいけない」と強調。隠す、ごまかす、ウソをつく安倍政権を批判し、「参議院選挙で市民と野党が共闘し、自民党を追い込み、安倍首相に引導を渡そう」と呼びかけました。

民青同盟の中川亜美さんは「奨学金返済に苦慮している青年、アルバイトで 12 時間も働いて過労死しそうな青年など安倍政権のもとで困っている青年がたくさんいる。憲法では個人の尊厳が大事にされる。社会を変えたいと思う青年と力をあわせて声をあげれば、変えられる。いっせいで方選挙、参院選で変えていこう」と訴えました。

憲法会議の高橋信一さんは、10 日に開かれた憲法審査会に傍聴に行ったこと、11 月 29 日に憲法審査会開会が強行されたことなどについて述べ、「臨時国会で憲法改悪を一步も進ませなかった。通常国会での発議も阻止しよう」と呼びかけました。

全労連の小田川義和さんは「現代の奴隷制ともいわれる外国人技能実習制度はそのままに、安い労働力を確保したい大企業の要望をうけた入管法案がわずかの審議時間で強行された。2015 年から 2017 年



に 69 人の外国人技能実習生が亡くなっている。深刻な人権侵害が起きている可能性があることを知りもしない、調査もしないままに、人手不足、生産性向上だと経済政策のために、4 月実施を急ぐあまり強行することが、憲法に基づく政治、立憲主義なのか」と批判。来年度の予算要求についてふれ、「軍事費は 5 兆 3000 億円。社会保障費の自然増は 6000 億円も削減予定だ。バカ高い武器をアメリカから買うために高齢化が進むもとで社会保障

費を削減する。くらし破壊の軍事大国化は許せない、その思いを安倍 9 条改憲反対の 3000 万人署名に託していただきたい」と訴えました。

農民連の町田常高さんは日欧経済連携協定（EPA）についてふれ「チーズなど 82%の農産物の関税が撤廃される。北海道の酪農家は地震で厳しい状況にあるのに、追い打ちをかけるものだ」と批判。「安倍政権の無茶苦茶な国会運営をやめさせる、憲法改悪を許さないことを示すことができる 3000 万人署名にご協力を」と呼びかけました。

全労連の長尾ゆりさんは「全国各地で広がる 3000 万人署名が『安倍 9 条改憲』を許さない世論を確実に広げ、無茶苦茶な国会、何もかも強行する国会だったが、安倍首相の改憲スケジュールを前に進ませていない。戦後 73 年、続いてきた平和、ずっとずっとこの戦後を続けていこう。憲法 9 条を無傷のまま手渡そう」と呼びかけました。

★当面の行動★

●12 月 19 日(水) 18 時 30 分～ 国会議員会館前

総がかり行動 「19 日行動」